

議会と市民との

意見交換会及び報告会を

開催しました

江南市議会では、市民の皆さんから直接ご意見やご提案をいただき、議会として積極的な政策提言を行うため「市民と議会との意見交換会及び報告会」を、11月15日(土)午後7時から、すいとぴあ江南市民文化会館および布袋ふれあい会館で開催しました。

当日は、3会場で76人の市民の皆さんにご参加をいただき、議会からの平成25年度決算報告の後、活発な意見交換が行われました。

質疑応答の内容は次のとおりです。



すいとぴあ江南

▼新体育館について

問 江南市新体育館の建設に当たって、競技会場施設を多くとって、たくさんの人たちがスポーツに参加できるように施設にしてほしい。会議室は他の施設での会議室で充分補えるので少なくともよいのではないか。

答 基本計画も基本設計もできて、27年度に実施設計をする予定です。基本設計を見る限り、会議室は1室でパーティーションで間仕切りができるようになってきているのと、研修室が1室になっていきます。現体育館のように会議室は多くはありませんが、会議室をなしにすることはできません。

メインアリーナとサブアリーナの面積を広くしてほしいという要望ですが、行政に皆さんの意見を要望していきます。

また、さまざまな視点に立った意見や要望、アイデアを体育館の建設計画に反映するため、各種スポーツ団体関係者だけでなく、一般公募の市民も参加し、アリーナ、会議室など、施設づくりのアイデアをいただいています。

▼枯草火災について

問 休耕地の枯草対策について、毎年のように区から市に要望を出し、市から地主に除草処理の指導をしているが、なかなか除草していただけないのが現状であり、高齢化が進む中、注意されても除草出来ない地主も多く、これに対する市の対応策を改善してほしいのと、市議

会は枯草対策についてどのように市に意見を出しているか。

江南市で罰則を与えることができるような条例を作る対応策はできないか。

答 各議員の地元から枯草処理の要望が出ています。行政から市民が安心して暮らせるよう、地主に強く指導はしていますが、すぐには対応していただけないのが現状です。

他の市町の枯草除草に対する対応策などを研究しながら、江南市独自の条例を制定できないか行政とも話し、枯草火災の心配が無くなるよう努力します。

▼路線バスについて

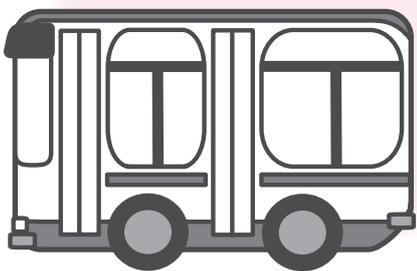
問 すいとぴあ江南線の名鉄バスのバス停間隔が600mと長く、ネットで調べてみると400m間隔が多いので、高齢者が利用できるようなバス停の間隔を短くしてほしい。また、バス路線についても江南厚生病院までいいが江南厚生病院からすいとぴあ江南まで民家の少ない所をバスが走っても、バス停までが遠く利用しにくいいため、旧名草線をバス線にしたらどうか。

答 名鉄バスの路線・時刻の改正は3年ごとに見直すことになっていますが、早急に提案していきます。

問 鹿子島、中般若、勝佐地区の交通の便がないため、市内循環バスを市民目線で検討してもらいたい。

答 市では市民の足の確保のための委員会があり、どのような交通体系がいいのか検討されています。その中で、江南厚生病院からすいとぴあ江南までの路

線の延伸、江南駅からヴィアモールを経由する江南団地行きと江南団地から江南厚生病院行きが増えています。市民の足の確保としていこまいCAR(予約便)がありますが、以前は無料でしたお迎え料金が利用者の増加で市の負担が大きくなり、いまは利用者負担になっています。交通不便地域解消が江南市の大きな課題であり、巡回バス方式、デマンドカー方式など、市民の足の確保をテーマとして、どんな形・方法で進めていくか当局任せでなく、市民の方も入って一緒に考える委員会になればと思います。当然議会も積極的に取り組んでいかなければならないと思っています。



▼防護柵について

問 すいとびあ江南の北堤防を降りたところの水防倉庫周辺の河川敷公園の防護柵だが、高さ制限が変更されたため、まだ新しい柵を撤去し他へ移動するとの説明があった。錆びついている防護柵はそのままということなので、ペンキを塗ったらどうか。

答 場所は特定できませんので担当課に伝えて対応するように連絡します。

▼図書館について

問 図書館は不便なところにあり内部の照明も暗いので、扶桑の図書館を利用している。建設基金を取り崩して図書館のバリアフリー化をするということだが、市民を交えての新図書館検討委員会で、江南の新図書館はいろいろな面ですばらしいといわれるような図書館にしてほしい。

答 議会で図書館問題特別委員会を設置して、これからの図書館について協議を進めています。

基金の取り崩しについては、今の図書館がバリアフリーになっていないので、建設基金を流用してバリアフリー化を進めています。このまま基金の取り崩しが続くと、基金が無くなってしまつても危惧されるため、取り崩した部分については、二元に戻して(補充)ほしいと先日、議会として市に要望書を出しています。

今の図書館は狭いため、新しい図書館が必要との委員会の意見は一致していませんが、新しい図書館をどこに造るかというところには至っていません。

現在どのような図書館にすればよいのか協議する中、田原市の図書館を視察してきました。従来の図書館は本の貸出が主であったのですが、これからの図書館はそれでは成り立つてはいかないのが現実です。図書館を行政の中でどの部分に位置付けて行くのかが一番大切だと思います。

市も十分に協議して進めていきます。



現在の図書館

問 どんな立派な図書館ができてても不便な所では困るので、例えば新体育館の近くや、文化会館とか、とにかく人の集まりやすい場所に造ってほしい。

巡回バスも有料ではなく、無料の巡回バスにしてほしい。

答 情報提供の場所でもあり、人々のコミュニケーションの場所でもありますので、どこが一番適した場所なのか委員会

で今後検討していきます。建設については市は白紙の状況なので、議会の中でどうしたらよいのか委員会で検討していきます。

問 新ごみ処理施設の進捗状況についてアンケートをとられたのが1年半ほど前かと思えます。

その後の経過が広報に載っていて9月には結論が出ると聞いていますが、今の現状はどうかとなっているのか、江南市へ施設がくるのか犬山市に造られるのか。

また期限もあると思います、地元の要望・環境問題も相談に応じるということでしたが、この点についても話が進んでいないがどうなっているのか。

答 地域として中般若・草井・般若・扶桑の山那地区・小淵地区があり、江南市では賛成が多数で、扶桑町の小淵地区は賛成が4割、反対が6割なので、理解していただけるように説明している状況です。9月までと期限はありましたが結論ができませんので、12月の二市二町の第一小ブロック会議で方向性が決められるのではないかと思います。江南市で施設が造られると決定されていませんので、地元の要望・環境問題もお話ができない状況です。

▼防災行政無線について

問 一部で聞こえないところがあり、風向きの影響もあるかもしれないが、江南市全体を調査して防災行政無線スピーカーの本数を増やすことはできないのか。

答 今問題なのは、流れてくる声が肉声づらいということ。約2億円をかけて整備していますが、聞きづらいという意見を聞いており、引き続き市とも協議し取り組んでいきます。聞きづらいことを想定して、区長や防災会長には防災ラジオを配付し、希望者には購入していただきましたが、防災ラジオが聞きづらい場所も出ておりますので、この問題についても、しっかりと取り組んでいきます。「あんしん・安全ねっとメール」の登録利用の方法もありますので、ぜひ登録していただきたいと思います。



○他に聴覚障害者からの質問もありましたが、時間も超過しているため、後日改めて厚生文教委員会で質問を受けるということと閉会しました。

市民文化会館

▼布袋駅付近鉄道高架化事業について

問 総事業費約190億円のうち、名鉄の負担額は7200万円に過ぎない。

しかし、「首都圏、近畿圏及び中部圏の近郊整備地帯等の整備のための国の財政上の特別措置に関する法律」や同法施行令によると、鉄道高架事業における鉄道会社の受益割合は最低4%とされている。また、「都市における道路と鉄道との連続立体交差化に関する細目要綱」で、費用区分や鉄道会社の受益相当額の算定根拠が示されている。

これらの法令に照らすと、名鉄の負担額がどうして7200万円で済むのか理解できない。

答 この事業は、ご指摘の「連続立体交差事業」ではなく、事業手法の異なる「限度額立体交差事業」として行われます。国土交通省が定めた「道路と鉄道との交差に関する協議等」に係る要綱及び細目要綱によると、名鉄の負担額の算定根拠は、鉄道高架に伴う踏切の除却益が1カ所あたり1200万円ですから、6カ所で7200万円になります。ご指摘の法令について勉強させていただきま

問 橋上駅となる布袋駅にエスカレーターを設置してもらえるのか。

答 この時代、新設する駅にエスカレーターを設置しないというのはあり得ません。市の単独予算を使っても設置

すべきです。

問 万が一、大震災が発生して鉄道高架が破壊された場合、代替ルートがあるのか。

答 耐震基準はクリアしていると思いますが、名鉄や市に対して、万が一の場合の対応について説明を求めています。また、どのような方法で多くの人を輸送できるか考えていきます。

▼浸水対策について

問 この数年間、たびたび豪雨が発生し、般若川から水が溢れ出し浸水被害に悩まされている。浸水対策はどのようなか。

答 想定内の時間雨量を超える豪雨が発生しており、悩ましい問題です。般若川の改修が終わり、調節池・分水池も整備され、青木川放水路も供用開始しています。来年度以降、対策の効果を検証していきます。

お金が掛かりますが、市の補助制度を活用して浸水防止柵を設置したらどうでしょうか。

▼耕作放棄地の枯草への対応について

問 地元の耕作放棄地に枯草が生い茂っている。市を通じて地主に対応を求めたが、一向に改善されていない。民家が隣接しており、火災が発生したら被害を受ける恐れがあるので困っている。

答 市から地主へ渡す指導文書に黄色・赤色を使い、それでも改善されなければ氏名公表や罰金を課すといった、実効性のある対策を考えていかなければなりません。それぐらいのことをやらない

と問題が改善されないと思います。

▼公共施設が出すごみの処理について

問 公共施設が出すごみは「事業系ごみ」として処理しなければならぬ。しかし、市は市役所などから出るごみを「一般家庭系ごみ」として処理しており、事業者としての責任を果たしていない。正常化を求める。

東京都府中市は事業系ごみの袋（一般家庭ごみの袋より4倍高く、袋の色も違う）を作成し、一般収集ルートで回収している。参考にすべきだ。

答 市は「市関係の公共施設から出る事業系ごみは、直営と委託収集（委託料は市負担）で焼却場に持ち込んでおり、いずれも市の責任で処理しているので、事業者責任を果たしている」と説明しています。また、府中市の取り組みについては調査します。

▼事業系ごみの処理について

問 事業系ごみが市のごみ全体の4分の1を占めている。しかし、一般家庭系ごみと違って、事業系ごみの分別方法をきめ細かく示すものが全くなく、野放し状態になっている。メスを入れてもらいたい。

答 先日、江南丹羽環境管理組合議会で同様の指摘がなされ、事業主に對して冊子を配布し、協力を求めることになりました。

▼新ごみ処理施設について

問 新ごみ処理施設を熱回収施設とする構想があるようだ。しかし、ごみをたくさん集めないと運転できない炉

では困る。きちんとした循環型施設になるのか。

答 ごみをどんどん持つてこないと連続運転できないような施設では、ごみは全く減りません。どうやってごみを減らして、小さな施設を作るか、市民レベルで話し合うところからやってみなければなりません。

▼子ども医療費の無料化について

問 子育て支援策として、子ども医療費を中学校卒業まで無料化する見通しはあるのか。

答 ※それぞれの議員から次のような意見が出されました。

★ 市は民生費の占める割合が40%を超えており、ある意味、福祉が充実しています。無料化を視野に入っていますが、一度、民生費全体を総点検し、見直さなければいけません。

★ 自己負担1割分があるのとないのでは全然違います。子育て世代からは「給料が安いので、無料化してほしい」という声が寄せられています。財政が許せば無料化するのが当然と思っております。

★ 民生費は国庫補助金などで賄われている割合がとて高くなっており、市の財政に与える影響は大きくありません。数字のマジックがあります。実際、市の扶助費の経常収支比率は県下平均を下回っています。

▼新体育館建設について
 新体育館に複合機能を持たせ、会議室などを設けてもらいたい。
答 新体育館は非常に大きい施設になります。キッズルーム、トレーニングルーム、防災倉庫を兼ねたスペースも設けます。



現在の市民体育会館

▼新図書館について
問 新図書館建設の見通しはどうか。

答 新図書館建設基金に関する条例が改正され、現図書館の改修のために約1億円が取り崩されました。しかし、現図書館（築38年）を今後どうするのか、新図書館を建設するのか、市は全く方針を持っていません。そこで、議会として市民への説明責任を果たすために、議会

に「図書館問題特別委員会」を設置しました。議論を進める中で委員の総意として、新図書館を建設しなければならぬ、基金も再度積み立てるべきだという結論に達しました。そして、議長名で当局に対して基金の積み立てを開始するよう申し入れました。

▼新図書館建設に関して、これからどんな市民から意見をいただきたいです。
答 取り崩した基金は、トイレの改修、バリアフリー化への対応、図書館に隣接した土地の購入に充てました。10万人都市として図書館に関する要望が強いので、早く新図書館が建設できるように努力します。

▼防災センターについて
問 防災センターについて市民に十分知らされていかない。見学会やホームページで写真を公開してもらいたい。
答 団体で申し込むと見学会を開催してもらえます。

布袋ふれあい会館

▼まちづくりの合言葉について
問 最近の社会生活に欠けている協調精神を復活させるべく、「お互い様」を江南市のまちづくりの合言葉としてはどうか。

答 江南市は、市民協働を一つの柱として、まちづくりを進めています。その根底に「お互い様」という精神が大切と考えます。キーワードの一つとして、検討していきます。

▼布袋駅の鉄道高架と周辺整備について
問 鉄道高架はどうなっているか。

答 平成31年度の完成に向け進んでいます。駅西の道路、公園の完成もその時期に合わせて進めています。これから駅東の道路整備を進めていきます。駅東に雨水貯留施設の埋設を計画しています。駅東交番は27年2月4日開設の予定です（現在すでに、警察官が常駐しています）。駅にエスカレーターを設置するかどうかについて、議会は全員賛成ですが、設置費と維持費の全額が市の負担となるため、市の結論は出ていません。しかし、駅舎の設計は設置できる階段幅で設計することになっています。

問 エスカレーターは必ずしも必要とは考えない。階段の段差を低くしたり、中間の踊り場を広くして楽に歩行昇降できるようにしてはどうか。

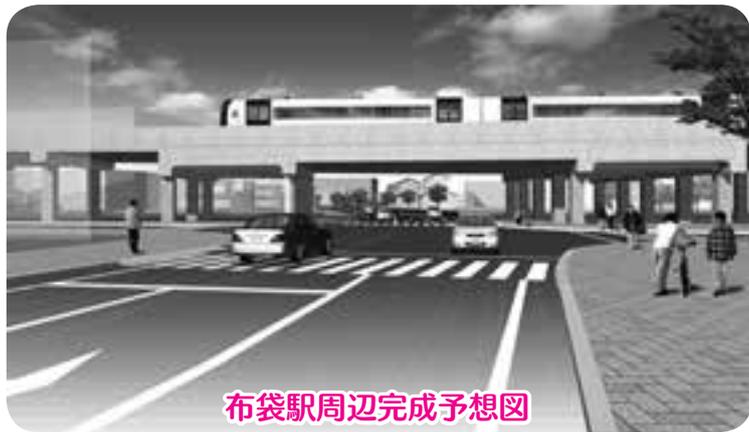
答 名鉄線の橋上駅でエスカレーターが無い駅はほとんど見掛けません。高齢化の進展で需要は増えると思われる。名鉄が顧客サービスとして費用の一部負担をしてくれれば設置しやすいと思います。結局エスカレーターを設置しないのであれば、階段の規格を検討する必要があると思います。

要望 エスカレーターは高齢化に向け、絶対付けて欲しい。

賛否 会場参加者（33人）に設置の賛否を挙手で伺ったところ、賛成が圧倒的多数であった。30代と思われる男性は反対、2人の他市の議員は表明せず。

問 高架化に伴う布袋駅周辺の商業施設の開発計画はどうなっているか。

答 駅西に歩行者優先道路を造ることで、より、商店街の形成を促していたが、現在住宅建設が進んでいて難しい状況です。駅東の2haの再開発は、地権者による協議を進めてきたが、計画はできていません。4月1日より駅東地域を市街化調整区域のまま、指定地域として土地売買を自由化する予定ですので、住宅などの開発が進むと思います。駅東商業施設等再開発については、地権者任せにすることなく、市も協力して開発を進めなければ難しいと思いますが、現在、市にそのような計画はありません。



布袋駅周辺完成予想図

問 布袋駅西側住宅地の歩行者道路の完成はいつか。

答 鉄道高架完成時期となります。

問 布袋駅西側の市所有空き地の雑草除去を、市はもつとしてほしい。犬のふん、ペットボトル、空き缶などを棄てていく人がいる。

答 除去や清掃については市に伝えま
す。また、地域住民のボランティア
清掃もお願いしたいと思います。

▼江南駅周辺の再開発について

問 江南駅は犬山線で最高の乗降客数だが、老朽化している駅西の雑居ビルを含め、再開発計画はあるのか。

答 以前、中心市街地活性化法による再開発基本計画を立てたことがありますが、現在、再開発計画はありません。

▼新ごみ処理施設について

問 新ごみ処理施設はどのようになっているか。

答 今年9月末までに、建設候補地の江南市中般若町北浦から半径500mほどの周辺6地区住民の承認を得るべく説明会や視察などを行ってきました。アンケートの結果、5地区は賛成でしたが、扶桑町小淵区の60%の方が反対となったため、今後、さらなる説明を粘り強く進めていきます。

問 新ごみ処理施設は発電設備を付け、また温水利用も考えてほしい。

答 発電して施設内利用は可能です。売電までしようとする焼却量が規模的に難しいと思われます。温水利用も運

営コスト、将来老朽化による修繕コストを考えると地元でも賛否両論があります。

▼図書館について

問 図書館の建設基金はどのようになるのか。

答 約7億4517万円あった基金が、今年度末には約6億2524万円になります。理由は図書館の角地、約300坪の購入費と汚水設備、バリアフリー化工事費に使用するものです。300坪は40台程の駐車場となります。基金取り崩しについては、3月議会で承認をしました。一方、議会としては、5月に図書館問題特別委員会を設置し、これからの図書館の在り方を検討しています。特別委員会として、将来、新しい図書館を造ること、そのために、取り崩した基金を戻すこと、また毎年基金を積み立てていくことを提案し、議会全員の承認を得て、議会から市へ要望書を提出しました。

▼緊急通報システムについて

問 独居高齢者になった場合に、緊急通報システムを設置すると、8万円程の設置費が掛かる。非課税者は無料、納税者は有料の2段階ではなく、少額納税者には補助を出して、費用負担の軽減処置がとれないか。また、市から緊急通報システムがあるということ、独居の届け出をしたときに、案内するようにしていただきたいがどうか。

答 市に対して確認や要望をし、後日お答えします。

※この質問は、当日お答えできません

したので、次のとおり回答します。

12月定例会の一般質問で、緊急通報システムを利用するにあたり、所得税額により、段階的に負担額を決定できないか質問したところ、利用者が一部負担した機器の所有権が市利用者か判断が難しく、また、保守についても、同様の問題が発生します。今後の検討課題としますとの回答でした。

また、装置の案内については、独居に関する相談などがあれば、その都度案内しており、市ホームページでも常時案内をしていますとのことでした。

▼文化財への助成金について

問 安良の棒の手は県指定無形民俗文化財であり、また、おでこ様は市指定有形文化財である。しかし、市長、議員とも見に来たことが無いと思う。是非見てほしい。また、おでこ様への年間助成金5000円をもう少し増やしてほしい。修繕費は10万円以上なら出るとのことだが、少額でも出るようにしてほしい。

答 市と打ち合わせして、回答します。

※この質問は、当日お答えできません
したので、次のとおり回答します。

12月定例会の一般質問で、市に補助対象経費の引き下げができないか質問したところ、指定文化財の保存については、今後も助成していく予定ですが、助成金の増額や補助対象経費の引き下げにつきましては、今のところ予定していませんとの回答でした。

▼防災行政無線について

問 屋外スピーカーからの緊急放送の内容が、反響して聞き取れない。音声案内と警告音による通報に変更して欲しい。

答 市に要望します。

アンケートを実施しました

今後の運営の参考とさせていただきます。ご来場の方々にアンケートをお願いいたしましたところ、74人の方に協力いただきました。

「意見交換会・議会報告会を何で知りましたか」の問いには「広報こうなん」が一番多く、次いで「議員・知人の紹介」「地区回覧」という結果でした。「開催日時につきましても、概ね参加しやすいです。また、「議会報告はどうでしたか」の問いにも、大半が良かったとの回答でした。

このアンケートの結果を踏まえ、次回の意見交換会及び報告会を開催します。詳細が決まりましたら、広報こうなんや市議会ホームページなどでお知らせします。

なお、今回の意見交換会及び報告会の内容は、市議会ホームページでも掲載していきますのでご覧ください。

たくさんのご意見をありがとうございました。

